

朝日中学校だより

笑顔あふれるあたたかい学校

令和3年10月14日発行



【教育目標】 進んで学び 豊かな心をもった たくましい生徒

「笑顔の輪を広げよう」

校長 木ノ瀬隆幸

早いもので4月からの学校生活も6ヶ月が過ぎました。この間、生徒は自律した姿を随所に見せてくれました。特に体育祭では、工夫を凝らしたダンスや、競技の進行等もあり、最後の競技まで勝利の行方が分からない、スリリングな展開をみせて大いに盛り上がりました。10月に入り、新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態宣言や蔓延防止等の行動制限が解除となった今こそ、新たな目標に向かって自分を見つめ、一歩ずつ進んでいる生徒の姿を嬉しく思います。今後も保護者の皆様や地域の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。以下に10月の全校朝会でお伝えした内容をご紹介します。

文化祭のミッションについてお話しします。それは「来ていただいた方を笑顔にする」ことです。新型コロナウイルス感染症対策で今年も文化祭のメインは合唱と生徒会企画です。書記局の皆さんに提案して、フリーパフォーマンスの時間を確保しました。今年も4組の出場を予定しています。出場を決意した人の心意気に感謝します。



合唱発表は昨年同様に学年で2曲を歌います。歌は日頃の学校生活を反映させます。それには、日頃の学校生活がどれだけ充実しているかが大切です。10月には6年生の1日体験入学もあります。学校にきた6年生を授業や部活動体験を通して安心させ、笑顔の輪を広げてください。また、新潟県ではいじめ見逃しゼロスクール取組の月です。困っている人が困らなくなるように、全員が当事者として今の生活を見直す機会としましょう。

昨年の今頃、友達のあだ名や嫌なことを言ったり、人の失敗を馬鹿にしたりしてトラブルになったりしたケースがありました。中学生は相手の気持ちを考えず、自分の苛立ちをすぐ言葉にしてみたり、言われたことでカッとなり相手に暴力を振るったりして、いじめに発展することがあります。学校は失敗する場です。間違いや失敗は当たり前になります。でも、自分がうまくできないことを誰かのせいにしても、問題は何も解決しません。大切なことは、自分が今、何に困っているのか、どうしたいのか、何を求めているのか、それらを言葉にすることです。職員にも、君たちの様子に変だなと感じたら、「どうしたの」「どうしたいの」「何か手伝うことないかな」の3つの言葉をかけてもらうようお願いしました。（この3つは是非ご家庭でも使っていただきたいと思います。生徒は自分を客観的に見つめます。）大切なのは、自分で考えて、決めるということです。自分の生き方は自分で決める。これが自律への第一歩です。

最後をお願いします。朝日中学校の誰もが安全安心に生活するために優しい言葉を使いましょう。言葉は時に宝にも刃にもなります。同じ言葉なら、元気になれる、言われて嬉しい言葉を使いたいですね。

朝日中学校では、日々の取組をホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

ホームページアドレス <http://asahi-j.murakami.ed.jp/>



秋晴れの空の下、体育祭を行いました！ 9月20日（月）

台風14号がもたらした長雨の影響で2日間順延した体育祭でしたが、雲一つない秋晴れの下で、無事に実施することができました。敬老の日であり、稲刈りの時期も重なり、保護者の皆様にはご理解とご協力を賜りましたこと、感謝申し上げます。

生徒のこれまでの取組の過程が素晴らしく、当日は生徒全員が楽しむ体育祭が実現され、心地よい一日となりました。



生徒会書記局が掲げたスローガン「The sky is the limit. 翼なびかせ 舞い踊れ」のとおり、生徒は自分の限界に挑戦し、最後までワクワクドキドキの展開を見せてくれました。競技では、得点が同点で最終種目を迎えるドラマチックな展開で、選抜対抗リレーが大変盛り上がりしました。



また、新型コロナウイルス感染症対策のために応援パフォーマンスは、団長の声のみという制限の中で、音楽に合わせて工夫を施したキレキレのダンスを披露しました。



結果は、競技の部 青軍、応援の部 赤軍、パネルの部 青軍で、総合優勝は青軍となりました。

閉会式では、団長から感謝の言葉があり、また互いの健闘をたたえ合う場面も見られ、生徒の自主的な取組と優しさが大いに発揮された一日でした。



受検（験）は団体戦！ 3年生放課後学習会 9月21日（火）～
土曜朝日学習会 9月25日（土）～

学校生活は切り替えがとても大切です。前日体育祭を終えたばかりの3年生ですが、翌日から放課後学習会が始まりました。受検（験）は個人戦ではなく、団体戦だと言われます。受検（験）に向かう学年の雰囲気が、一人一人の成長をより強く促すということですね。



3年生は自分で決めた課題にじっくりと取り組みました。真剣さに圧倒されます。公立高校選抜までの日数、3年生が学校に来る日数はあっという間に残り少なくなります。光陰矢のごとし。

25日（土）からは、市総合文化会館を会場に土曜朝日学習会が始まりました。この会は平成18年度にスタートし、16年目を迎えます。講師はご退職された先生方で、無償で参加してくださっています。今年度は36名の3年生が参加します。これは過去4年間で最も多い参加者数です。どうか、最後まで感謝の気持ちを忘れずに、互いに励まし合い、自分を磨いてほしいと思います。



開講式では6人の講師の皆様から、大変貴重なアドバイスを頂戴しました。設立当初からお世話になっている稲葉先生からは、「生物には成長する時期がある。人は中学・高校がその時だ。自覚して取り組もう」と励ましの言葉を頂きました。また、保護者の皆様からも大勢参加して頂きました。ありがとうございました。

開講式後、新型コロナウイルス感染症対策のため、2つの部屋に分かれて学習を始めました。来年3月3日（木）の公立高校一般選抜まで、全部で22回の日程です。数学の学び方を切り口に、全員志望校合格を目指します。



学校運営協議会を行いました 9月27日（月）

新型コロナウイルス感染症対策のため、開催を見合わせていた、今年度最初の学校運営協議会を行いました。直接学校に集まって実施したのは2月以来です。

始めに委員の皆様へ、2時間目の授業を参観していただきました。タブレット端末を活用した授業や、新しく入った大型提示装置を使った授業を見ていただきました。



その後、校長から、目指す子どもの姿はどれだけ実現されているかについて、現状と課題をお伝えしました。委員の皆様からは、資料を基に、多面的な角度から、たくさんのご意見を頂戴しました。

今後も「自律する力と思いやりの心を育む」ことを念頭に、教育活動を進めてまいります。



放課後の合唱練習が始まりました 10月11日（月）

10月23日（土）文化祭＜合唱発表会＞に向け、この日から放課後の合唱練習が始まりました。文化祭の合唱発表では、学年ごとに2曲を歌います。美しいハーモニーを響かせるために、合唱実行委員を中心に主体的に活動に取り組んでいます。発表会では順位はつきませんが、真剣に取り組むことが本校の伝統です。

音楽室ではマスクを外して歌うことができるように、技能員さんをお願いして、透明のシートを天井から吊り下げて、列ごとに区画を確保しました。



「私の随想録」第1回

今月より、職員による随想は、「私の随想録」と題し、執筆者の趣味や関心事、継続して取り組んでいること等、自由で個性ある内容をお届けします。

私の趣味

川村 健一



私の中学校・高校時代は、部活動はサッカー部に所属し青春時代を送っていました。部活動以外に、小学校に入ってから冬の間にはスキーを始めました。小学生から大学生、そして社会人になった今でもスキーをしています。朝日地区にはぶどうスキー場というリフトのある立派なスキー場がありますが、私が中学生の時には、母親の実家が猿沢にあり、猿沢にはロープで上がるスキー場があったので、よく行っていました。そんな中学生の時に、私は競技スキーを始めました。当時は、スキーの郡市大会が高根であり、下から上に雪を踏んで登って上がり、コースを作って出場し、入賞した年もあったものの、タイムがよくなく不振な時もありました。そんなところに、ちょうどスノーボードが流行り、スノーボードも始めました。今では、冬の間にはスキーとスノーボードの両方とも、時間があればスキー場に行って滑っています。

私は昔から体を動かすことが好きでした。走ることに挑戦して体力作りをしています。大学生の頃は、時間があれば10km程走っていました。一番よい時で10kmを34分台で走りました。新潟に戻り、新潟マラソンでは何回かハーフマラソンを走りました。シドニーオリンピックの金メダリストの高橋尚子さんとハイタッチもしました。アメリカに渡って留学していた頃には、ロサンゼルスマラソン大会に出場して、なんとか4時間を切るタイムで、42.195kmのフルマラソンを走り終えることができました。

留学から戻り、今度は新潟マラソン大会でフルマラソン大会に参加したいと思っていましたが、休日の部活動指導等で時間をとることがなかなか難しく、参加することができないでいます。今後、東京マラソン大会に出場してフルマラソンを走ってみたいのですが、毎年応募しているものの、応募者多数で落選しています。しかし、自分自身の体を鍛えるためにも、よい健康状態を維持するためにも、走り続けていきたいと思っています。